


地域貢献活動（副業）を行う市職員の紹介

令和3年10月
生駒市人事課

A decorative graphic consisting of a series of overlapping, wavy lines in shades of green, yellow, and pink, flowing from the bottom left towards the bottom right of the page.

消防署署補佐 久保 大寿



普段の仕事

消防指揮隊副隊長として主に現場活動、現場の指揮をとっています。
また、救急救命士の資格も持ち、救急に関する業務にも携わっています。

地域貢献活動の内容について

「いのちの授業」という出前授業を小学4年生に対して行っています。
いのちの大切さというより、いのちは時間であり、人のために自分の時間を使える人になって欲しいという内容であり、間接的にいのちを大切にすることを伝えています。

活動をはじめた背景・目的

救急隊として勤務していたころ、安易な救急要請をどのように減らしていくかと考えていた時に「いのちの授業」をしているNPO法人「エフ・フィールド」に出会い、活動内容に賛同することができ、命の大切さを伝え、本当に命に危機が迫っている方に救急車を使ってほしいという願いから活動をはじめました。

子育てが終わり子供のために使っていた時間を社会貢献のために活かすことができればという思いと、また子供のころの教師になりたいかったという夢が一致し教壇に立ちたいと思いました。

業務上さまざまな厳しい現場をみることもあり、ゲートキーパーとしての役割も担えるのではという思いもあります。

活動していて良かったと思う点

異業種の方と知り合い接することから得られる知識などを本業に活かせることができますし、アイデアの幅も広がりました。人に出会うと不可能なことが可能になる瞬間が現れ、頭の中のイメージだけではできないことが良い方向に動くことが多々あります。

純粋な心を持った子どもたちとふれあうことで自分の心をリフレッシュすることができ、本業に関してももっとシンプルに考えることができるようになりました。

制度を利用しはじめて、変わったと思うこと

無償で活動していた時よりも、責任を感じるようになり、一つ一つの行動をより深く考えるようになりました。また活動には雑費がかかるため、このような制度は本当にありがたいです。

活動についてこれからの抱負など

人のために時間を使うということをどんどん実践しもっと社会貢献していきたいと思います。副業ですので稼がなくてもいいというスタンスで、小回りの利く社会貢献を目指し、「いのちの授業」だけでなく生駒からの発信で全国に広がるような活動をしていきたいと考えています。

**これから活動を
始めよう
する人へ一言**

副業ということで今まで自分で考えていたようなことや、しなければならなかったようなことがリスクなくでき、達成感ややりがいなどを楽しむことができます。ぜひ自分の持っている時間を少しだけでも人のために分けてほしいと思います。生駒市というより全国、世界に活気が伝わることを願います。

消防署北分署予防第2係 向井 一

普段の仕事

防火対象物の立入検査を行ったり、避難訓練の指導をする火災予防の仕事をしています。

3交代制で当直勤務を行い、出勤時は消防車・救急車の運転をしています。



地域貢献活動の内容について

生駒市立生駒北中学校女子バレーボール部の外部指導者です。

活動をはじめた背景・目的

数年前、クラブ顧問にバレーボールの専門的知識がないため生徒保護者から「ボランティアになるが技術的指導をお願いしたい」と依頼があったからです。

その後、ボランティアから地域スポーツ人材活用支援事業の制度を活用し活動しています。

活動していて良かったと思う点

スポーツを通じ生徒と交流できることは、貴重なリフレッシュの機会になっています。また本業以外のプライベートで運動する時間ができるのもメリットと感じています。

制度を利用しはじめて、変わったと思うこと

交通費・飲料水・テーピング等色々自己負担が大きかったのですが、活動費負担が軽減されました。

活動についてこれからの抱負など

生駒市からTOPアスリートを輩出できるよう頑張りたいです。
平成30年公認指導員取得予定（専門科目 バレーボール）

これから活動を始めようとする人へ一言

スポーツ指導は特に専門的な知識が必要ということもあり、全ての競技で指導者は不足しています。色々な制度を活用しながら、児童・生徒が目標を持ち活躍のしやすい環境が少しずつできていけばいいなと考えています。

消防署救助第3係 吉尾 大輔



普段の仕事

火災や交通事故現場における人命救助が私の仕事です！とは言っても、毎日そのような救助事案があるわけではないので、普段は各種災害や事故を想定した訓練や救助技術指導会の訓練、また救助資器材の管理などを行っています。

地域貢献活動の内容について

市内にある少年サッカーチームで小学生を対象にサッカーの指導を行っています。

活動をはじめた背景・目的

サッカーと子供に携わる活動に興味があり、少年サッカーの指導をしている友人の紹介で活動をはじめました。

活動していて良かったと思う点

コミュニケーションスキルの向上に繋がっていると感じます。小学生へ説明するには子供たちの立場に立って考え、発言しなければ伝わりません。相手の立場で考えることで、自分の意見との相違点を探り、妥協点を見出すことで円滑なコミュニケーションや人間関係の構築ができていますと感じます。

制度を利用しはじめて、変わったと思うこと

仕事と家族と活動のバランスを意識するようになりました。相互の関係性を認識することで三者が互いに与える良い影響のバランスを保つことで相乗効果が得られるように感じます。またそれぞれの責任感についても前よりも増して感じるようになりました。

活動についてこれからの抱負など

地域活動における重要性の一つに「継続」が掲げられると思います。子供たちが楽しくサッカーを続けられる環境を継続していくためにはどうすべきか考え、行動していきたいです。

これから活動を始めようとする人へ一言

お金を頂いての活動ということに抵抗を感じるかもしれませんが、頂いたお金の使い方やその責任を意識することで、これまでとは違った価値を見出すことができると思います。



普段の仕事

ICTを活用した様々な施策の推進、民間事業者等との連携による新たな価値の創出などを担当しています。
また、行政が保有するデータを「オープンデータ」として公開し、研修やイベント等を通じた利活用の促進も行っています。

地域貢献活動の内容について

総務省の「地域情報化アドバイザー」として、活動しています。
要望に応じて地方公共団体等へ派遣され、職員向け研修の講師や、個別の相談等の通じて、ICTやデータ利活用による地域課題の解決に向けた支援を行っています。

また、生駒市を中心にITを活用した地域課題の解決や、地域の活性化を行っているコミュニティ CODE for IKOMA にも参加しています。

活動をはじめた背景・目的

生駒市が「寝に帰るだけのまち」だった前職時代。仕事一本やりな生活の中、ふと抱いた将来への不安から、もっと地域に根を下ろせば良いんだと考えるに至りました。自分が得意なことで貢献できないかと模索し、地域コミュニティに参加。様々な活動を経験しました。

自治体に転職したのち、業務での取り組みを進める中で総務省より声をかけて頂き、現在に至ります。

これから活動を始めようとする人へ一言

少しだけ勇気をもって、外の世界に飛び出してみてください。そこには、あなたを待つ仲間がたくさんいるはずです。

活動していて良かったと思う点

一段高い視座を得られるところ、だと感じます。普段の業務では、どうしても個別的・近視眼的になりがちです。一步外に出ることは、物事を俯瞰的に捉える良いきっかけとなります。

制度を利用しはじめて、変わったと思うこと

いろいろな意味で、メリハリをつけた行動を心掛けるようになりました。支援の準備では大量の資料を作るのですが、作業は平日の深夜や休日の朝に全力集中。家族サービスに影響が出ないよう、気を付けています（笑）。

活動についてこれからの抱負など

コロナ禍を経て、社会全体のデジタル化が加速しています。私たちが望む未来はどのようなものなのか、活動を通じて、ぜひ皆さんと一緒に考えて行きたいです。